

みんなで創ろう！人が輝く元気とやま



# 県広報 とやま

# 1

2018 JANUARY  
NO.478

食事を通じて子どもたちを応援する「こども食堂」が全国的に注目を集めています。そんななか、富山県内でも平成28年2月に初めて本格的にスタートした「オタヤこども食堂」。毎月第2、4土曜日のお昼に、高岡市の御旅屋セリオ6階でランチを提供しています。

大人は有料ですが子どもは無料。1人で食事をとっている子どもを温かい料理で励ましたいという思いから始まったお店は、今では子どもたちにとつて、週末ランチを楽しめ、ほっとできる新しい居場所にもなりました。毎回100人以上が集まり、家族連れも訪れる「人気店」としてすっかり定着しています。

「続けてこられたのは、食材の提供など、いろんな方のご協力やご縁のおかげ」と運営メンバーの田辺恵子さん。また、高沢満里子さんは「季節の旬の魅力や、地元のを伝えることも大切にしていきます」と思いを込めます。

食堂には、高校生がボランティアスタッフとして参加。自ら進んで行動する大切さを学び、「ありがとう」「おいしかった」といううれしい言葉を分かち合い、成長する場ができました。田辺さんは、ボランティアを卒業する高校生から食堂での体験を綴った感謝の手紙をもらったことも。「思わず涙しました」と当時の感激に笑みがこぼれます。

「こども食堂」は、現在、県内に8箇所。地域での取り組みが広がりをみせています。



「オタヤこども食堂」には、5人の運営メンバーのほか、たくさんのボランティアが参加



## 温かい食事と時間を すべての子どもに。

「オタヤこども食堂」(高岡市)

運営メンバーの田辺恵子さん(右)と高沢満里子さん

朝8時半頃から家で料理の準備を始め、後片付けが終わるのは夕方5時過ぎ。  
“おいしかった!”という子どもたちの言葉と笑顔が、大変さを忘れさせてくれますね。

子どもたちに食べやすい工夫が盛り込まれたメニュー



明るい雰囲気でもみんなが楽しく過ごせる

久保さんご一家  
(南砺市)

### 元気いっぱい! とやまにぎやかファミリー

池田さんご一家  
(上市町)



パパママコメント  
元気なとやまっ子が  
また一人加わりました。



パパママコメント  
家族が増え、にぎやかな毎日です!  
待望の娘に、パパはデレデレです

\* 第4子以上のお子さんが生まれたご家庭をご紹介します \*

### とやま Made in Toyama 物語

### うまみがあふれる 新感覚の富山干柿「柿ごのみ」



南砺市産の三社柿を使った名産「富山干柿」を、もっと気軽に食べてもらおうと作られたのが「柿ごのみ」。通常の干柿よりも水分を多く抜いてドライフルーツタイプに仕上げられており、あっさりとした甘さが持ち味。そのままでももちろん、サラダのトッピングや酢の物にと、いろんな楽しみ方がある。常温で6月末まで日持ちする。「お子さんも食べやすく、若い人たちにも人気です。ヨーグルトと合わせて食べるのがオススメ。乳酸菌との相性がぴったり」と組合理事の藤井さんが教えてくれた。



富山干柿出荷組合連合会(南砺市)  
理事 藤井敏一さん

組合のホームページで購入でき、東京のアンテナショップ「いきいき富山館」でも取り扱っている。150g入りと300g入りがあり、販売期間は2月末まで。

特集

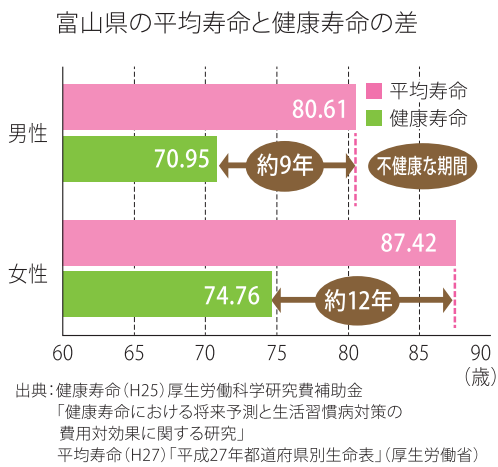
のぼそう  
健康寿命

# 県民一人ひとりの生活習慣の改善をサポート

さっそく今日から  
健康づくりに取り組もう！

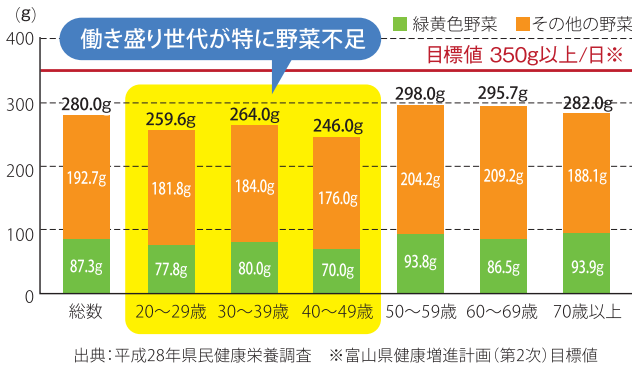


皆さん「健康寿命」という言葉をご存知ですか？健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。本県の「健康寿命(H25)」は、男性が70.95歳(全国31位)、女性が74.76歳(同14位)であり、平均寿命(H27)との間に男性で9年、女性で12年ほど差があります。このため、県では、県民の皆さんが食生活の改善や運動習慣を定着させて、いつまでも健康で過ごせるよう、さまざまな施策に取り組んでいます。



## 社会全体で健康づくりに 取り組む機運の醸成

健康寿命の延伸には、まず、県民の皆さんに健康づくりに対する意識を高めていただくことが重要です。そこで、県では、地域や職場など、健康づくりを支援する関係者の連携を強化し、県全体で健康づくりに取り組む機運の醸成を図るため、平成28年5月に「富山県健康寿命日本一推進会議」を



## 食生活の改善に向けた環境づくり

県では、県民の1日あたりの野菜摂取量の目標値を350g以上としています。この目標を達成し、一人ひとりの食生活を改善するためには、生活スタイルの多様化に合わせて、家庭だけでなく外食時も含めた取り組みが不可欠です。

そこで、家庭における野菜摂取を増やしてもらおうと、「野菜をもう一皿!」を県内491店舗のスーパ-



おり、県民一人ひとりに予防のために「野菜摂取の増加」「身体活動の増加」など、生活習慣の改善に、これまで以上に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

設置し、各種の健康づくりを推進してきました。ただ、がんや脳卒中、心疾患など生活習慣病の増大が引き続き大きな問題となっており、本県でも生活習慣病による死亡が過半数を占めて

やコンビニで展開しています。また、減塩や野菜摂取の促進に取り組み、シニア向けのメニューを提供する飲食店を「健康寿命日本一応援店」として紹介していますので、ぜひご利用ください。



## 県民一人ひとりの運動習慣の定着を支援

もう一つ重要なのが身体活動の増加であり、県では、毎年「富山県民歩こう運動推進大会」など気軽に参加できるウォーキングイベントを開催しているほか、主に働き盛り世代が楽しみながら健康づくりに取り組めるよう、スマートフォンアプリ「元気とやまかがやきウォーク」を配信し健康ポイント制度を実施するなど、参加しやすい工夫を行っています。

また、職場における健康づくりの支援として、ウェアラブル端末※などのIoT技術を活用して企業チームで歩数を競う「100日健康運動会」を開催し、25社(235名)の企業に参加していただきました。

このほか、県内6ヶ所(定員180名)で日常生活に取り入れられる運動や健康的な食生活を学ぶ「健康合宿」を開催し、参加者は生活習慣改善に向けた意識向上により、成果を挙げています。

(※身につけて持ち歩くことができる情報端末のこと。今回紹介した取組みで使用したものは、歩数や歩行距離、消費カロリーを24時間記録してスマートフォンなどにデータを送信することができます。)

## 平成30年4月から 国民健康保険制度が変わります

現在の国民健康保険は、市町村ごとに運営されていますが、平成30年4月からは、県が市町村とともに運営を担うこととなります。

- 国民健康保険加入者(被保険者)の皆様の被保険者証などの資格管理や保険料(税)の賦課・徴収等の身近な窓口は、引き続きお住いの市町村となっており、**変更はありません。**
- 受けられる医療や特定健診などの仕組みについても、**これまで通りとなっております。**

### ■主な役割

県	市町村
財政運営の責任主体となり、中心的な役割を担います。	資格管理、保険給付、保険料(税)率の決定、賦課・徴収、保健事業等を引き続き担います。

※国民健康保険組合については、これまでどおり運営されます。

県では、「健康寿命日本一」を目指し、今後とも、食生活の改善や運動習慣の定着など、県民の皆さんの望ましい生活習慣・健康づくりの推進に向けた環境整備を進めます。こうした県の施策や市町村、医療保険者等による支援をぜひご利用いただき、日頃から健康づくりに継続して取り組んでいきましょう。

## 「健康寿命日本一」の実現を目指して



生活習慣改善健康合宿「とやま健泊」



スマートフォンアプリ「元気とやまかがやきウォーク」

富山県は、日本海側屈指の「ものづくり県」として発展してきましたが、近年、生産の現場では、新製品の開発にあたり、高機能性や低コストに加え、優れたデザインを活かすニーズが高まっています。そこで県では、デザインの活用への支援を強化するため、昨年11月15日、富山県総合デザインセンターに「クリエイティブ・デザイン・ハブ」をオープンしました。

### 県総合デザインセンターのこれまでの取組み

県では、県内企業のデザインを活用した商品の開発や販路開拓を支援するため、平成11年7月に総合デザインセンターを設立しました。



総合デザインセンター「クリエイティブ・デザイン・ハブ」

デザイン専門の県立試験研究機関としては全国唯一の施設です。民間企業等からの相談への対応や、3Dプリンターなど時代に応じた設備の導入、デザイナーとのマッチング等を行い、これまで商品化された案件は150点以上にのぼります。

### ◆富山デザインコンペティション

今年度24回目を迎えた「富山デザインコンペティション」は、若手デザイナーの登竜門

として高い評価を受けています。これまで延べ約7500名の応募があり、受賞作品等から50点以上が商品化され、好評を博しています。過去の受賞者から、リオオリンピックの卓球台をデザインした澄川伸一氏など、国際的に活躍するデザイナーも輩出しています。



(錫製の曲がるカゴ)

(卓上うちわ)

総合デザインセンターの商品化事例

### ◆台湾デザインセンターとの連携

新たな飛躍・発展に向け、国内にとどまらず、海外展開の支援にも力を入れていきます。平成28年8月に、同センターが台湾デザインセンターと連携に関する覚書を締結し、また、昨年8月には、



台湾デザインセンターと覚書を締結

高度なものづくり技術をもつ県内金属製造メーカーと台湾のデザイナーとのコラボによる試作品開発を行い、世界に向けて商品開発や販路の開拓・拡大を目指しています。

### ◆デザイン系大学との連携

県内企業のデザイン人材の確保も重要な課題です。そこで、県内外の大学生と県内企業が共同で試作品開発を行うことへの支援など、産学官連携による人材の確保・育成にも積極的に取り組んでいます。今年度は、武蔵

# デザインをもっと富山の力に

「クリエイティブ・デザイン・ハブ」オープン

特集

## 県政 Q&A



**Q** 子どもたちが生まれ育った環境に左右されず、健康やかに育つよう、県ではどのような取組みを行っているのですか？

**A** 県では、平成27年に策定した「かがやけ とやまっ子 みらいプラン」に基づき、ひとり親家庭の児童に対する学習支援や無利子奨学資金の貸付けなどの教育支援、ひとり親家庭への家庭生活支援員の派遣などの生活支援、就業相談や就労訓練などの保護者の就労支援、児童扶養手当の支給などの経済的支援等にきめ細かく対応しています。

さらに、今年度新たに、「子どもほっとサロン事業」を創設し

本紙の1面でも紹介した、経済的理由だけでなく、孤食など家庭に事情を抱える子どもたちに対する「こども食堂」の立上げ経費等を市町村とともに支援しています。昨年10月には、県内関係者への研修会を開催し、こども食堂の運営事例の紹介や情報・意見交換を行いました。

今後も地域や家庭から皆さんの意見をお聴きしながら、取組みを充実させてまいります。

◎この件のお問合せは…県子ども支援課 TEL.076-444-3136

詳しくは 富山県子ども支援課 検索

皆様のご意見をお待ちしています。  
「元気とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで  
●はがき・手紙:〒930-8501 県庁広報課 ●FAX.076-444-3478  
●インターネット: 元気とやま目安箱 検索

野美術大学、長岡造形大学、富山大学と企業がそれぞれ連携し、富山大学では富山県美術館のミュージアムショップで使用する包装紙のデザインを提案するなど、様々な取組みを行っています。

### 「クリエイティブ・デザイン・ハブ」の整備

このたび国内外のデザイナーや企業等から多くの異業種の人材が集い、新たな価値を生み出せる拠点として、クリエイティブ・デザイン・ハブを開設しました。企業が入居する6室の「デザインオフィス」と、セミナー会場やデザイナーの交流スペースとして活用いただける「クリエイティブサロン」で構成されています。

新商品の企画のためのデザイナーとのマッチングや、先端設備を用いた試作品開発への支援

を行うとともに、マーケティングに詳しいデザイナーなどに外部アドバイザーとして協力を依頼するなど、センターに新たな知見・ノウハウを取り入れていくこととしています。



クリエイティブサロン

この施設の完成により、高岡銅器などの伝統工芸品分野はもちろんです、医薬品などの先端的なものづくり分野にも、デザインを取り入れた新事業の創出や新商品の開発の支援を強化していきます。

デザインを重視した商品の開発や新事業の展開にご関心のある事業者の方は、ぜひ、お気軽にご相談ください。

### デザイン交流拠点を目指して

「クリエイティブ・デザイン・ハブ」を中心に、近隣の民間企業や高岡市デザイン・工芸センター等と連携し、本県産業の競争力を高め、このデザイン交流拠点から富山のデザイン力をさらに発信していきます。



富山県総合デザインセンター  
〒930-1111 高岡市オフィスパーク5  
TEL.07666-6210510  
FAX.07666-636830

# 県内おでかけ情報

料金の( )内は20名以上の団体料金



## 富山県美術館 小中高生無料

### START☆みんなのミュージアム2018 ものがたる手とテとて

- 期間** 1月20日(土)～3月4日(日)
- 休館日** 水曜日(祝日を除く)、祝日の翌日
- 時間** 9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
- 料金** 一般500円(400円)、大学生400円(300円)

富山県内の小・中・高・特別支援学校の協力により、児童生徒のみならず、主役の展示が「スタート」します。ワークショップなど、アートを体験できるしあわせなイベント! 富山県美術館にみんなあつまれ!



◎富山市木場町3-20 TEL.076-431-2711

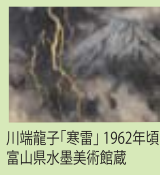
富山県美術館 検索

## 水墨美術館 小中高生無料

- 休館日** 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日
- 時間** 9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)

### あつまれ墨画アーティスト 墨で奏でる墨が彩る

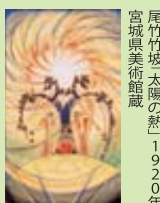
- 期間** 開催中～1月28日(日)
  - 料金** 一般 300円(230円) 大学生 200円(150円)
- 「音」をテーマに、子どもたちがワークショップで作った作品と所蔵作品をあわせて紹介します。



## 生誕140年 尾竹竹坡展

- 期間** 2月16日(金)～3月25日(日)
- 料金** 一般 900円(700円) 大学生 650円(500円) 一般前売り 700円

尾竹竹坡の初めての回顧展。初期から晩年までの代表的な作品を紹介します。



◎富山市五福777 TEL.076-431-3719

水墨美術館 検索

## 県中央植物園

- 開園** (1月)9:00～16:30、(2月以降)9:00～17:00
- 休園日** 木曜日
- 料金** 入園料一般[1・2月]300円(240円)、[3月]500円(400円) 小中高生と70歳以上無料

### 企画展「平成29年度研究発表展」

- 期間** 開催中～2月21日(水)
- 植物園の職員が行った最新の調査研究の成果を、写真や標本などのパネル展示でわかりやすく紹介します。 ※「平成29年度研究発表会」は1月28日(日)13:00～16:00

### 企画展「第5回クリスマスローズ展」

- 期間** 2月23日(金)～25日(日)
- 富山県内で生産された色とりどりのクリスマスローズを多数展示します。



### 植物ガイド ～園長と歩く植物園～

- 期日** 1月21日(日)、2月18日(日) 13:30～14:00
- 園長がその日に見頃を迎えている植物を解説しながらご案内します。



◎富山市婦中町上善田42 TEL.076-466-4187

富山県中央植物園 検索

## 海王丸パーク

### パワーバレンタインウィーク

2月14日のバレンタインデーは帆船海王丸の「進水記念日」。これを記念し様々なイベントを開催します。

- 期間** 2月10日(土)～14日(水)
- 期間中、カップルの方は乗船料半額。メッセージ入りバレンタイン特別乗船券もお渡しします(要事前応募)。2月14日(水)は乗船無料。乗船された方にはチョコレートプレゼントします(数量限定)。夜間特別乗船も開催!

### 海王丸の満船飾、特別公開見学会

- 期日** 2月14日(水)
- 海王丸の進水記念日を祝い、海王丸の船首から船尾まで旗を掲揚する「満船飾」を実施します。海王丸の機関室等をクルーが解説しながら案内する「特別公開見学会」も開催!

◎射水市海王町8 TEL.0766-82-5181

イベントの開催時間はホームページで確認できます。 海王丸パーク 検索

# 県政の動き

## 最近の動き

- 11月 1 富山県功労表彰式
- 6 秋の叙勲・褒章伝達式
- 15 富山県総合デザインセンター「クリエイティブ・デザイン・ハブ」開所式
- 16 国際北陸工芸サミット(～23日)
- 27 県議会定例会(～12月13日)

- 12月 15 高校生とやま県議会
- 23 環水公園スイートクリスマス2017

## 今後の予定

- 1月 14 とやま農林漁業就業支援フェア
- 25 次世代自動車・ロボット産業 富山フォーラム
- 2月 3 越中とやま食の王国フェスタ2018 ～冬の陣～(射水市)
- 7 「富山のさかな」おもてなしフェア(東京)
- 8・9 ゆきみらい2018 in 富山

# TOPICS

## 富山のおいしさ、魅力を伝える とやま食の王国大使ふふふ

平成30年秋にデビューする富山米の新品種「富富富」をはじめ、富山県の食の魅力をPRしている3人。昨年9月の就任式では、知事から大使のタスキを受け取り、「県の代表としてがんばりたい」と口をそろえて意気込みを語ります。以来、県内外のイベントを駆け回る多忙の日々。「富富富」は、さらっとした食感で、甘味、旨味、香りがとてもよく、「自信をもってアピールしています」と笑顔を見せます。3人とも「食べるのが好き」というのが共通点。食べていただいた皆さんに「ふふふ」と微笑んでいただくのを楽しみに富山のおいしい魅力を発信しています。



左から、草島しおりさん、上樂菜さん、前田まどかさん



「富富富」限定販売記念イベント(H29.10.7)

◎問合せ先 県農林水産企画課 TEL.076-444-3271

富富富 検索

## マイナンバーカード(個人番号カード)をつくってみませんか

- 顔写真入りのプラスチック製カードで、公的な身分証明書として使えます。
- 申請から約1カ月で受け取れます(無料)。
- 手続きは簡単!スマートフォンやパソコンからも申請できます。



◎問合せ先 県市町村支援課 TEL.076-444-3183もしくはお住まいの市町村の窓口へ

マイナンバーカード 検索

## 元気レシピ

### 長ねぎのポタージュ



寒くなっておいしさを増す冬野菜。体を元気にしてくれる力がいっぱい。ねぎのツーンとする香りの成分は血行を良くし、体を温めてくれる働きや殺菌作用があると言われています。

- 【材料・分量(4人分)】** 1人分/約40kcal
- 長ねぎ.....160g(2本程度 青い部分は除く)
- 水.....300cc 無調整豆乳.....200cc
- コンソメ.....固形1個 コショウ.....少々

**作り方** ①長ねぎは斜め切り(または小口切り)にする。鍋に水、長ねぎ、コンソメを入れ、長ねぎがぐたぐたになるまで煮る。②冷ましてから①と豆乳をミキサーにかける。なめらかになったら鍋に戻して温め、コショウをふる。

(協力)黒部市食生活改善推進協議会

富山県では、健康寿命日本一を目指しています。健康寿命をのばすため、正しい生活習慣、食習慣を心がけましょう。詳しくは [とやま健康ラボ](#) 検索

# 県政クイズ

○の中に言葉を入れてください。  
のぼそう〇〇寿命 (ヒントは「特集1」元気レシピにあります。)

正解者の中から10名の方に、「平成29年産 富山米新品種「富富富」2kg」、「富富富」手ぬぐい」、「富のおもちかえり 八尾の里の和風ピクルス」をセットでプレゼント。

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、性別と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。

宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま1月号クイズ係」●締切1月31日(水)必着  
◎前回(10月号)の答え...「ものづくり」 応募総数1,320 正解者数1,276 たくさんのご応募ありがとうございました。

本号とバックナンバーは、広報課のホームページで閲覧できます。 県広報とやま 検索

◎「県広報とやま」には点字版と音声版もございます。左記までお問合せのうえ、ぜひご利用ください。

平成30年1月14日発行 企画・発行 富山県経営管理部広報課(富山市新総曲輪1-7) 編集協力(株)チューエツ  
※「県広報とやま」は環境に配慮し、植物性大豆インキと再生紙を使用しています。※下記の広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。なお、広告の掲載については、(株)ホープ(TEL.092-716-1404)までお問い合わせください。

## 富山県広報課 公式ツイッター

県政やイベントの情報などを発信しています。フォローしてね!

@pref\_toyama



## 無料アプリで「県広報とやま」を配信しています。

